

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	家電量販店（店 長）	販売量の動き	・ 来客数、客単価の動きとも非常に良くなっている。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・ 外務部門は企業の経費削減の影響から、売上の落ち 込みが続いている一方、店頭部門は先月までの大きな 落ち込みから、若干のマイナスへと改善傾向にある。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・ 既存店ベースの売上高を前年比で見ると、昨年の 98.2%から今年は100.6%へと改善した。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・ 例年に比べてファーストフード関連が好調だったこ とから、思った以上の売上が確保できた。また、来客 数も増加している。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・ 全体の売上は大きく伸びてはいないが、プラズマテ レビ、液晶テレビ、マッサージチェア等の、大型で付 加価値の高い商品の動きは確実に上向いている。
		観光名所（経営 者）	来客数の動き	・ 4月の統一地方選挙、5月のSARSの影響で、売 上が4～6月にかけて、前年比で大幅に落ち込んだが、 7、8月でその落ち込み分を取り返した。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・ 住宅ローン金利が上昇するとの情報から、駆け込み で住宅購入を検討し始めたケースがあり、受注が増加 している。
変わらない		百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・ ここ2、3か月、天候不順や台風等の影響で来客数 が減少している。また、秋物商品の動きも鈍く、客の 動きはかなり悪い状況が続いている。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・ 昨年がプロ野球の優勝セールで大幅に伸びた反動か ら、今年は来客数が前年同月比10%、売上高も同比約 8%減少した。具体的には雑貨、小物類、紳士・婦人 の催事衣料や食料品が苦戦した。なお、宝飾品、ブラ ンド品は、商品によってはばらつきがあるものの、善戦 している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・ 客は少しでも安い店、商品に流れる傾向が強まって おり、ディスカウント時にのみ来店する。こうした影 響から、9月に入り来客数は徐々に減少している。
		コンビニ（店 長）	お客様の様子	・ 今月、特売セールを実施したことから、売上は短期 的には上昇したが、その後は前年比約5%の減となっ ており、また来客数も減少している。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・ 8月後半から9月にかけて気温が高かったこともあ り、例年に比べて飲料等がよく売れている。また、外 出する機会が多いのか、客数は例年に比べ若干多い。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・ 客は商品購入に慎重な態度が見られ、特に高額商品 については時間をかけて選んでいる。主婦にその傾向 が強い。単品購入の傾向も強まっている。
		家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・ 今月は冷蔵庫、エアコンの売上が持ち直し、パソコ ン、携帯電話も良くなったが、他の商品の動きが悪 く、全体的としては小さな伸びにとどまっている。
		乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・ 新しい車種を発表しても、その効果がみられない。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・ グループでの会食が減少していることに加え、個人 の来客数も減少している。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・ 来客数は変わらず、先行きの予約状況も良くない。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・ 今月は秋の行楽シーズンを迎え、海外グループ旅行 を始め、国内旅行においても温泉、紅葉見物などの成 約が順調であった。航空券も観光地、大手企業の東京 出張が多く、東京便を中心に売上は良好であった。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・ 他社との競争が厳しく、受注単価もいまだ低下傾向 にある。
		やや悪く なっている		一般小売店〔生 花〕（経営者）
百貨店（売場主 任）	販売量の動き			・ 9月は、残暑の影響から、秋物に対する客の購買意 欲があまり感じられず、販売量も少なかった。
一般小売店〔菓 子〕（販売担 当）	販売量の動き			・ 今月は、昨年比に比べて販売量が2割以上落ちた。

		その他専門店 [CD](店員)	お客様の様子	・無駄な物は買わず、本当に欲しい物以外にはお金を使わないという傾向が強くなっている。
		ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・今月は行楽シーズンでもあり、来客数を期待していたが昨年を下回った。また、通常の週末についても満席にならない状況である。
	悪くなっている			
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・新商品の投入により、販売数量が増加した。
		木材木製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・住宅ローン減税の駆け込み需要により、良好に推移している。
	変わらない	化学工業(販売担当)	受注量や販売量の動き	・冷夏と長雨の影響から、受注量は低迷している。特に農業資材関連の動きが悪い。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・大手メーカーとの商談において、不景気で契約がなかなか決定しない。受注を失ったということではないが、契約が先延ばしされるケースが出てきた。
		輸送業(支店長)	それ以外	・家庭用品、食品関係等を中心に輸出貨物量は若干増加したが、韓国の貨物ストや台風による釜山港の機能低下から、納期の遅れや輸入ルートの変更があったため、輸入貨物量が減少している。
		通信業(営業担当)	それ以外	・商談や営業活動の中で、客から「今が底」、「少しは良くなってきている」という声が多くなっている。
		広告代理店(経営者)	取引先の様子	・百貨店も、何か企画をしなければ集客できない状況で、特に衣料部門は低調であり、秋物の動きは鈍いようである。
		公認会計士	取引先の様子	・取引先の毎月の試算表を見ると、前年比でマイナスになっている取引先が多い。しかし、マイナス幅が縮小してきており、今のところ景気に変化はない。
	やや悪くなっている	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注件数はほぼ前年度並みに回復しているが、大型案件が少なく、受注残高は前年度を大幅に下回っている。
悪くなっている	-	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(支店長)	求職者数の動き	・求人数が前年比で約2割増加している。
		求人情報誌製作会社(従業員)	求人数の動き	・求人数が若干増加している。特に製造下請関連で求人数が増加している。
	変わらない	人材派遣会社(支店長)	雇用形態の様子	・求人数は前年に比べ微増となったが、求人動機が現契約の切替えであり、市場全体の増加につながらない。
		新聞社[求人広告](担当者)	それ以外	・相変わらず調子が良いのは葬儀社や仏具社などであり、小売関連業者には広告を出す意欲が感じられない。また、タクシーの運転手の話によると、夜の街は人も少なく、まだまだ消費者まで景気の回復には至っていない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は、前年比で3か月ぶりに減少に転じた。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・卸・小売業、飲食店、建設業での求人減少が目立っている。
	やや悪くなっている	職業安定所(職員)	それ以外	・パートを含む新規求人数は前年同月比で3.5%減少し、特に建設業では3割の大幅減となった。一方、製造業では増加に転じたが、臨時雇用の影響が大きいいため、力強さは感じられない。
悪くなっている	-	-	-	
			・ここ2、3か月、中小零細企業の倒産が相次ぎ、離職者が増えている。	